

【第6分科会】地域連携B

報告者 白山市立千代野小学校PTA会長 山本恵史

日 時 平成29年10月7日(土) 9:30～11:50
会 場 プラザ萬象(小ホール) 福井県敦賀市東洋町1-1

研究発表

- ◆ 地域の和をつむぐPTA活動 ～PTA活動と地域ボランティアの活動を結び付けて～
愛知県常滑市立大野小学校PTA
- ◆ たすきをつないで半世紀 3世代で育てた伝統行事
福井県福井市足羽第一中学校PTA



パネルディスカッション

- コーディネーター 寺下雅裕氏(敦賀市教育委員会社会教育主事)
助言者 田中志敬氏(福井大学国際地域学部講師)
パネリスト 福岡秀樹氏(福井県PTA連合会元会長)
山本隆英氏(愛知県常滑市立大野小学校PTA会長)
増田秀勝氏(福井県福井市足羽第一中学校PTA元会長)



常滑市立大野小学校PTAの研究発表では、PTAと地域関係団体との関係をあらためて整理し、積極的に結び付けた取り組みが紹介されました。PTAの中から外へ視点を向けたことで、それまでPTAが行ってきた活動を地域と繋げた成功例を聞き、地域と連携するにはこうしたひとつひとつの積み重ねが重要なのだと感じました。

福井市足羽第一中学校PTAの研究発表は、一人の体育教師の思いから始まり50年続いてきた「母校訪問駅伝大会」が紹介されました。校下にある6つの小学校を駅伝によって結び、全長30kmを20区に分けてタスキで繋ぐ駅伝です。警察、交通安全協会、防犯隊、PTAなど100人を超えるボランティアがサポートし、ランナーが小学校に来た際は、小学生も授業を中断して声援を送るそうです。

パネルディスカッションでは、研究発表を行った2名に加え、福岡氏、田中氏が参加し、これからの地域連携について意見が交わされました。また、会場参加者へのアンケートが行われ、「地域と連携して活動を行っているか」の問いに対して「連携している」と回答した参加者は9割以上でしたが、「地域・関係団体との連携に満足しているか」との問いには「満足している」と回答した参加者は3割しかおらず、私が所属するPTAと同じ悩みを抱えている方が多いのだと感じました。

助言者の田中氏は、古くからの地域と新興住宅地などの新しい地域ではコミュニティの在り方は異なるが、時代とともに地域の繋がりが薄くなっている現在、PTA活動は少し遠慮しつつも保護者・地域を活動に巻き込んでいくことが重要ではないかと話されていました。

小・中学校、PTAと地域との連携は一朝一夕には成りませんが、私達の子どもを強くたくましい人間へと成長させるには欠かせないものであり、地道な活動でも少しでも楽しみながら継続していきたいと感じました。